

令和3年度 シンポジウム「健全な水循環と新たな地域づくり」

# 秦野名水のブランディング について

2021年8月26日(木)

神奈川県秦野市環境産業部参事兼環境共生課長 谷 芳生



# 秦野市

都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の下、地下水の保全と利活用のマネジメントが行われ、名水百選「秦野盆地湧水群」が生活の中にある「名水の里」です。



# 地下水マネジメントの取組み

- ▶ 昭和45年～49年 秦野盆地の地下水調査
- ▶ 昭和50年 秦野市地下水の保全及び利用の適正化に関する要綱施行
- ▶ 昭和50年 人工涵養導入（水田涵養、地下水注入井戸、雨水浸透枡）
- ▶ 平成元年 有機塩素系化学物質による地下水汚染
- ▶ 平成6年 秦野市地下水汚染の防止及び浄化に関する条例施行
- ▶ 平成12年 秦野市地下水保全条例施行
- ▶ 平成15年 秦野市地下水総合保全管理計画策定
- ▶ 平成16年 名水復活宣言
- ▶ 平成24年 はだの水循環モデル作成（秦野市地下水総合保全管理計画改定）
- ▶ 平成26年 秦野名水利活用指針策定
- ▶ 令和2年 秦野名水の活用戦略策定
- ▶ 令和3年 秦野市地下水総合保全管理計画改定

# 地下水マネジメントの取組み

- 地下水の量の保全 【地域の地形・地質から水循環を知る】
  - ▶ 地下水調査によって、地域水循環の仕組みを解明（天然の水がめ）
    - S45~S49地下水調査（地質・電気探査・地下水位・降水量、水収支・賦存量）
    - 効果的な涵養方法の実証実験により人工涵養を導入
  - ▶ 地下水は市民共有の財産 = 公水としての認識
    - 地下水調査により涵養域から湧出域が判明
    - 地下水盆の中の地下水を水道・企業・市民で使用
  - ▶ 科学的知見をもとに地下水利用者への協力（民法207条の壁）
    - 人工涵養や水源林整備の財源を地下水利用者に求める
    - 地下水利用者は民法207条の所有権を主張
    - 地下水利用協力金の納付に関する協定に33社が締結

# 地下水マネジメントの取組み

- 地下水の質の保全 **【現場を知る】**
  - ▶ ゼロからの出発
    - 平成元年名水百選の代表的な湧水地「弘法の清水」の汚染発覚
    - 専門家を含む地下水汚染対策審議会を設置
  - ▶ 審議会からの答申（未然防止・汚染機構解明・健康調査）
    - 使用事業所への立ち入り調査（132社）
    - 工業団地を中心とした約12km<sup>2</sup>が汚染
  - ▶ 原因者負担の原則を規定した条例の制定
    - 平成6年秦野市地下水汚染の防止及び浄化に関する条例施行
    - 汚染46社のうち39社が浄化終了
    - 平成16年名水復活宣言

# 地下水マネジメントの取組み

- 地下水の利活用 【持続可能な利活用を知る】
  - ▶ 井戸設置にかかる損害賠償請求事件
    - 第1審敗訴、控訴審勝訴、上告棄却（東京高裁判決が確定）
    - 井戸設置の規制は、公益的見地からの合理性を有し、条例制定権を有する市の合理的裁量を超えるものとはいえず、憲法に違反しない。
  - ▶ 保全から市民共有の財産にふさわしい利活用へ
    - 平成24年地下水総合保全管理計画改定
    - 秦野名水の利活用指針を策定し保全から持続可能な利活用
  - ▶ 市民力を生かす「秦野名水名人とともに」
    - 令和3年地下水総合保全管理計画改定
    - 地域で活躍する名人にスポット

# 「秦野名水」とは

- ▶ 市民共有の財産として、先人たちから受け継いできた誇りと名水百選の地としての水の価値を表現するため、秦野市域に存在する地下水を水源とする水の統一した呼称。
- ▶ 市域内の湧水、地下水、表流水、水道水が対象。（雨水・処理水は除く）
- ▶ 活用戦略により「名水の里秦野」のブランド力向上と郷土愛の醸成を図る。
- ▶ 秦野名水を原料とする製品や商品にロゴマークの使用承認をしている。



商標登録第5801251号

# 秦野市地下水総合保全管理計画

安定的な水収支

水資源管理システム

名水の保全と利活用

安全な地下水

地下水汚染対策

## 使う名人

名水使用者 上下水道局



## 秦野名水の利活用指針

- 水収支を考慮した持続可能な利活用
- 地域の環境、社会特性を踏まえた利活用
- 里地里山と調和した利活用
- 秦野名水の名声を広める利活用
- 市民の誇りと郷土愛を育む利活用

## 秦野名水の活用戦略

ボトルドウォーター  
「おいしい秦野の水  
～丹沢の雫」



商標登録第 5801251 号

- 秦野市域に存在する地下水を水源とする水。
- 市民共有の財産として先人達から受け継いできた誇りと名水百選の地として水の価値をわかりやすく表現。
- 水道水をはじめ、生活に密着した利活用が図られ、人々の郷土愛によって培われている。

## 守る名人

企業 水神講  
地下水利用 協力金 秦野名水名人



## はだのブランド 「みっけもん秦野」

「秦野生まれ」「秦野育ち」「秦野発」のいずれかにあたり、独自に設けた厳しい審査基準をクリアしたもの。



## 名水百選 「秦野盆地湧水群」



みっけもんの旅

名産品  
落花生・桜漬け

秦野ブランド  
秦野名水のコラボ

森林セラピー

## 伝える名人

秦野名水名人講 秦野名水  
フェスティバル  
エコスクール  
(紙芝居・カルタ)



## 育てる名人

水田かん養協力者 里山保全団体



市民の郷土愛・地域アイデンティティの醸成

# 「秦野市地下水総合保全管理計画」 の改定

## ▶ 改定の視点

### 「行政主導の施策から市民力を生かした施策へ」

- ▶ 水循環基本計画の改定
- ▶ 秦野市の社会情勢・経済状況を反映

## ▶ 改定のポイント

- ▶ 地下水をマネジメントする
- ▶ 秦野名水名人とともに

# 「秦野名水名人」とは

## ▶ 使う名人

湧水や地下水を使い、秦野名水を生かしたもの

## ▶ 守る名人

地下水や湧水を守り、地下水の保全を推進するもの

## ▶ 育てる名人

限りある資源である地下水を育てていくもの

## ▶ 伝える名人

秦野名水に対する保全意識の醸成を図り、後世に秦野名水を伝えるもの

# 秦野名水名人講

## ▶ 秦野名水名人講

秦野名水を市内外に普及促進することを目的とした「伝える名人」  
秦野名水名人講座の修了者で構成する

「何をするか」よりも「何をしたいか」

## ▶ 秦野名水名人講座

秦野名水の魅力を伝えるための知識の習得

「むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく」

- ▶ 講義（基礎知識・水道・秦野名水・秦野盆地の生い立ち・汚染対策・世界の水事情）
- ▶ フィールドワーク（名水巡り・水道施設・露頭）
- ▶ ワークショップ（名水名人になって伝えたいこと）

ご清聴ありがとうございました。

